

○津山工業高等専門学校授業料及び寄宿料 の免除等に関する細則

〔平成18年9月26日〕
細則第4号

制定 昭和55年11月1日規則第5号
改正 昭和61年3月20日規則第1号 昭和62年3月23日規則第4号
平成元年6月28日規則第1号 平成10年12月15日規則第3号
平成12年3月31日規則第4号

(趣旨)

第1条 津山工業高等専門学校学則第44条の規定に基づく授業料並びに寄宿料の免除及び徴収猶予については、この細則の定めるところによる。

(授業料の免除)

第2条 経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生に対しては、本人の申請に基づき、その期に納付すべき授業料の全額又は半額を免除することができる。

2 休学、死亡等やむを得ない事情があると認められる学生についても、次の各号に定めるところにより、その授業料を免除することができる。

- (1) 休学を許可した場合は、月割計算による休学当月の翌月から復学当月の前月までの授業料の全額。ただし、各期の途中において休学する場合、納付済みの当該期分の授業料については還付しない。
- (2) 死亡又は行方不明のため学籍を除いた場合は、当該学生に係る未納の授業料の全額
- (3) 授業料の各期ごとの納期前6月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は入学前1年以内）において、学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、又はこれらに準ずる場合であって、校長が相当と認める事由により納付が著しく困難であると認められる場合は、当該事由の発生した日の属する期の翌期に納付すべき授業料。ただし、当該事由発生が当該期の授業料の納期限以前であり、かつ、当該学生が当該期分の授業料を納付していない場合において

は、当該期分の授業料

(4) 授業料の未納を理由として学生に退学を命じた場合、未納の授業料の全額

(5) 授業料の徴収猶予を許可している学生に対し、願出により退学を許可した場合は、月割計算により退学の翌月以降に納付すべき授業料の全額

(6) 入学料の免除を申請し、免除が不許可となった者及び半額免除が許可となった者が、納付すべき入学料を納付しないことにより学籍を有しないこととなる場合は、その者に係る未納の授業料の全額

(授業料の徴収猶予)

第3条 次の各号の一に該当する場合は、本人（第2号の場合は本人に代わる者）の申請に基づき選考の上、前期分については8月末日まで、後期分については2月末日まで、その期に納付すべき授業料の徴収を猶予することができる。

(1) 経済的理由によって納付期限までに授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

(2) 行方不明の場合

(3) 学生又は学資負担者が災害を受け、納付が困難と認められる場合

(4) その他やむを得ない事情があると認められる場合

2 特別の事情がある学生に対しては、その期に納付すべき授業料を月割分納させることができる。この場合の月割分納額は、授業料年額の12分の1に相当する額とし、毎月15日までに納付させるものとする。

(申請の手続)

第4条 授業料の免除又は徴収猶予の許可を受けようとする学生は、別紙様式第1、別紙様式第2又は別紙様式第3の願書に次の書類を添えて、各期ごとの授業料の納期までに、当該学級担任及び学生主事を経て校長に申請するものとする。

(1) 家庭調書（別紙様式第4）

(2) 所得証明書（別紙様式第5）又はそれに代わるもの

(3) 第2条第2項第3号又は第3条第1項第3号に定める災害を受けた場合は、被害地市町村長の発行する被災証明書

(4) その他校長が必要と認める書類

(許可)

第5条 授業料の免除又は徴収猶予は、それぞれの納期限までに受理した申請に対して当該期分の授業料について、学生生活委員会の議を経て校長が許可する。

(許可の取消)

第6条 授業料の免除又は徴収猶予を許可された学生で、許可の決定後、その理由が消滅したとき、又は不正の事実が発見されたときは、校長が学生生活委員会の議を経て、その許可を取り消すものとする。

2 前項の規定により許可を取り消したときは、取消の日の属する月に、次の各号に定める授業料を納付させるものとする。

- (1) 免除の取消にあつては、月割計算により取消の日の属する月以降のその期の授業料
- (2) 徴収猶予にあつては、その期の未納の授業料
- (3) 不正事実の発見により取り消した場合は、免除又は徴収猶予を許可したその期の授業料の全額

(寄宿料の免除)

第7条 次の各号の一に該当する場合は、寄宿料を免除することができる。

- (1) 死亡又は行方不明のため学籍を除いた場合は、当該学生に係る未納の寄宿料の全額
- (2) 学生又は学資負担者が、風水害等の被害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合は、災害の発生した日の属する月の翌月から起算して、6月間の範囲内において校長が必要と認める期間に納付すべき寄宿料の全額
- (3) 授業料の未納を理由として学生に退学を命じた場合は、未納の寄宿料の全額
- (4) 入学料の免除を申請し、免除が不許可となった者及び半額免除が許可となった者が納付すべき入学料を納付しないことにより学籍を有しないこととなる場合は、その者に係る未納の寄宿料の全額

2 前項に規定する寄宿料の免除については、第4条、第5条及び第6条の規定を準用する。ただし、この場合にあつては、第4条の願書は、別紙様式第6とし、同条中「学生主事」とあるのは「寮務主事」と、第5条及び第6条中「学生生活委員会」とあるのは「寮務委員会」と読み替えるものとする。

附 則

- 1 この規則は、昭和55年11月1日から施行する。
- 2 津山工業高等専門学校授業料及び寄宿料の免除等に関する細則（昭和38年規則第4号）は、廃止する。
- 3 昭和53年4月1日以降において、改正後の規則第2条第2項第3号若しくは第6号又は第7条第1項第3号若しくは第4号に該当する事項の適用を受けた者については、改正前の規則の定めにかかわらず、改正後の規則の適用を受けたものとみなす。

附 則（昭和61年3月20日規則第1号）

この規則は、昭和61年3月20日から施行する。

附 則（昭和62年3月23日規則第4号）

この規則は、昭和62年3月23日から施行する。

附 則（平成元年6月28日規則第1号）

この規則は、平成元年6月28日から施行し、平成元年1月8日から適用する。

附 則（平成10年12月15日規則第3号）

この規則は、平成10年12月15日から施行する。

附 則（平成12年3月31日規則第4号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

別紙様式第2（第4条関係）

学級担任認印	
--------	--

授 業 料 徴 収 猶 予 願

年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

工学科 年 組

学籍番号 番

現住所

氏 名 ⑩

保証人（保護者）

住 所

氏 名 ⑩

（本人との続柄）

下記により授業料の徴収を猶予していただきたいので、御許可くださるよう関係書類を添えて、保証人連署の上お願いします。

記

- 1 年度 期分 授業料 一金 円也
- 2 徴収猶予の期間 年 月 日まで
- 3 理由（詳細に）

別紙様式第3（第4条関係）

学級担任認印	
--------	--

授 業 料 月 賦 分 納 願

年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

工学科 年 組
学籍番号 番
現住所
氏 名 ⑩
保証人（保護者）
住 所
氏 名 ⑩

下記により授業料を月賦により分納させていただきたいので、御許可くださるよう関係書類を添えて保証人連署の上お願いします。

記

- 1 年度 期分 授業料 一金 円也を
月から 月まで各月 円ずつ分納
- 2 理由（詳細に）

別紙様式第4 (第4条関係)

家 庭 調 書										
① 申 請 者	フリガナ					工学科 年 組				
	氏 名		〒 電 ()			家 族 現住所	〒 電 ()			
② 家 族 及 び 所 得	A 就 学 者 を 除 く 家 族	○ × 印	続 柄	氏 名	年 齢	職 業 (申請時現在)	在 職 期 間 (年)	給与所得の収入 金額 (税込) (千円)	給与所得以外の 所得金額 (税込) (千円)	
			父							
			母							
	B 就 学 者	△ 印	続 柄	氏 名	年 齢	在 学 校 名	通 学 別 区 分	奨 学 団 体 名	奨学金 (年額) (千円)	
			本人			国立津山高専	自宅・自宅外			
						立	自宅・自宅外			
						立	自宅・自宅外			
						立	自宅・自宅外			
③ 特 別 の 事 情	○印 該当する事情		該 当 の 内 容				特別な支出金額 (千円)			
	A	母子・父子世帯		母無・父無		死亡・生別 (年 月)				
	B	障害者のいる世帯		手帳番号		本人との続柄 ()				
	C	長期療養者のいる世帯		病名		期間 年 か月				
	D	学資負担者が 別居している世帯				本人との続柄 ()				
	E	災害を受けた世帯								
	F	父母以外の者で所得を 得ている者のいる世帯								
	G	その他の場合								

この調書記載事項は事実と相違ありません。

年 月 日

本人氏名

印

連帯保証人氏名

印

(本人との続柄

)

別紙様式第5 (第4条関係)

フリガナ	-----
氏名	

家庭調書集計欄

注) 太枠以外で該当する箇所は必ず記入すること。

<input type="checkbox"/> 学年 <input type="checkbox"/> 組 学籍番号 <input type="text"/>	本人の奨学金の種類 <input type="checkbox"/>	奨学金の合計 (千円) <input type="text"/>																																																																																																									
収入状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>給与の収入金額(千円)</th> <th>給与以外の所得(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>父</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>母</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	区分	給与の収入金額(千円)	給与以外の所得(千円)	父			母			1			2			3			4			就学状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>13</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人</td> <td>本</td> <td>小</td> <td>中</td> <td>国公立高等学校</td> <td>私立高等学校</td> <td>国公立高専</td> <td>私立高専</td> <td>国公立大学</td> <td>私立大学</td> <td>国公立専修・高等</td> <td>私立専修・高等</td> <td>国公立専修・専門</td> <td>私立専修・専門</td> </tr> <tr> <td>自宅通学</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>自宅外通学</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>自宅(免除あり)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>自宅外(免除あり)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	本人	本	小	中	国公立高等学校	私立高等学校	国公立高専	私立高専	国公立大学	私立大学	国公立専修・高等	私立専修・高等	国公立専修・専門	私立専修・専門	自宅通学														自宅外通学														自宅(免除あり)														自宅外(免除あり)														
	区分	給与の収入金額(千円)	給与以外の所得(千円)																																																																																																								
	父																																																																																																										
	母																																																																																																										
	1																																																																																																										
2																																																																																																											
3																																																																																																											
4																																																																																																											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13																																																																																														
本人	本	小	中	国公立高等学校	私立高等学校	国公立高専	私立高専	国公立大学	私立大学	国公立専修・高等	私立専修・高等	国公立専修・専門	私立専修・専門																																																																																														
自宅通学																																																																																																											
自宅外通学																																																																																																											
自宅(免除あり)																																																																																																											
自宅外(免除あり)																																																																																																											
特別の事情	A 母子・父子世帯 該当者を記入 <input type="checkbox"/>	B 障害者 (人) <input type="checkbox"/>	C 長期療養者の医療費 (千円) <input type="text"/>	D 学費負担者別居の経費 (千円) <input type="text"/>	E 災害の被災額 (千円) <input type="text"/>	F 父母以外の所得 (千円) <input type="text"/>																																																																																																					
その他	家族生活地域 A又はB記入 <input type="checkbox"/>	家族の総人数 (人) <input type="text"/>	学業成績 <input type="text"/>	特別事情 <input type="checkbox"/>	備考																																																																																																						

所得証明書

氏名 (申請者記入欄)		年中の所得		配偶者控除 扶養控除した 人数
		総所得金額		
続柄	氏名	給与所得(税込)	給与以外の所得	
		(円)	円	人
		(円)	円	人
		(円)	円	人
		(円)	円	人
		(円)	円	人

上記のとおり証明します。

年 月 日

市区町 長

印

(備考)

- ・扶養人数を必ず記入してください。
- ・この証明書用紙では証明できない場合は、貴市区町村備付けの証明書用紙で証明してください。

別紙様式第6（第7条関係）

学級担任認印	
--------	--

寄 宿 料 免 除 願

年 月 日

津山工業高等専門学校長 殿

工学科 年 組

学籍番号 番

現住所

氏 名 ⑩

保証人（保護者）

住 所

氏 名 ⑩

（本人との続柄）

下記により寄宿料を免除していただきたいので、御許可くださるよう関係書類を添えて、保証人連署の上お願いします。

記

- 1 年度 寄宿料 月分から 月分まで
一金 円也
- 2 理由（詳細に）